

信篤 (SHINTOKU)

市川市議会議員

松永おさみ

い ち か わ

後援会だより

第44号

事務所 原木 1-22-16

電話・FA X 047-327-1470

www.matsunaga-o.net

6月議会

# 空家適正管理条例成立

## 大和田ポンプ場工事委託決定

市川市議会六月定例会は、六月八日から二十二日迄の十五日間にわたり開催されました。今定例会に提出された議案は、条例七件、契約三件、都市締結、人事案件等で合計二十五件ありました。

審議の結果は全て市長提案の通り可決されました。主な議案について以下概要をお知らせ致します。

### 市川市空き家等の適正な管理に関する

#### 条例について

この条例は、市民の良好な生活環境の保全を図るため、空き家等の適正な管理に関し、市及び所有者等の責務を明らかにするとともに、管理不全な状態にある空き家に対する措置を含めた全十九条からなる条例です。

主な内容は、市長は期限を定めて是正勧告を行い、その後必要な措置をとることを命令し、履行しない場合は代執行かできることを規定したもので、施行は平成二十五年一月一日です。

### 大和田ポンプ場工事委託

#### 協定金額一億五千八百万円

大和田二丁目建設する大和田ポンプ場(市川南排水区)の建設工事委託に関する基本協定案件が可決されました。これにより、下水道事業の代行を実施することができ、公的機関である日本下水道事業団との契約により、平成二十七年年度迄に建設されます。

### 仏蘭西の市とパートナーシティを結びます

市川市とフランス共和国イル・ド・フランス州オー・ド・セーヌ県イツシー・レ・ムリノー市(人口約六万五千人、市

域四・二五k㎡)との間で、ITC施策、花と緑の街施策、文化芸術の分野における自治体間交流及び青少年並びに市民交流を推進し、両市の市民の相互理解を深める為、都市締結を十月下旬に結びます。

### 市庁舎の建替え問題

老朽化した市庁舎の建替えについては、市民の方々のご意見を伺い参考にするなどして、現在地に建替えるか、今の分庁舎を活用しながら建替えるか、別な場所に移転して新設するかを、本年度中に結論づけるべく「庁舎整備基本構想策定委員会」を設け、十五人の委員で審議し決定することとなりました。

### 震災関連・東電に損害賠償を請求

昨年三月十一日に発生した東日本大震災は、市川市そして市民に多大な被害や影響を今なお与えております。

放射能汚染問題、風評被害も計り知れない奥深さをもたらし、震災対策に市は今迄に約四十三億円の支出を余儀なくされており、財政的にも大きな負担となっております。

焼却灰については、今迄の埋立搬送先の秋田県内の業者から、運び込まれた百十三トンが市川市に送り返されてしまいました。その上、毎日毎日清掃センターのゴミ焼却炉から出る日量四十〜五十トンの焼却灰の処分も断られ、現在県内を含め五か所に搬送しているため、効率が悪い状況と言わざるを得ません。これらの現状改善は急務であり、担当部の努力に期待を寄せ解決されることを望みます。

そして、市は先程今迄に要した放射線対策に要した費用の一次分として、総額一億九千二百八十八万円を東京電力(株)に請求しました。

内訳 測定等の費用 八千二〇万九千円  
放射線対策人件費 二千九百四万九千円

### 市川の花火大会が復活

昨年東日本大震災の影響で中止となった市川市民納涼花火大会が、八月四日(土)(一九時十五分〜二十時三十分)江戸川堤防で従来通り江戸川区との共同開催で実施されます。市の予算は約三千六百万円です。又、船橋市の花火大会は、七月二十五日(水)に開催されます。

## 議長職を全うして

昨年五月二十三日。統一地方選挙後、初めて開かれた市川市議会臨時議会冒頭の議長選挙において、多くの同僚議員の推挙を賜り第六十三代議長に就任いたしました。

以後一年余の間、市議会の代表として市主催の公式会合、行事、催事に100%出席参加をして、市長共々市民目線による市民の声を一つぶさに伺い、市政・市議会に反映させるべく努めてまいりました。

又、本年度に入り、千葉県市議会議長会の会長に選出され、併せて関東・全国議長会の役職にも就いたものではあります。市川市議会の内部事情により辞任をいたしました。やり残した議長会業務については、後任の議長に委ねたいと思います。

私は、議長在職中に本会議を円滑にして効率的な運営を図るべく市議会の改革全般について議論をするため、議長の私的諮問機関として「議会改革検討協議会」を設置することができました。スピード感を持って今後の議会運営が実現できるよう、十四人の議員による審議の結果に期待を寄せております。

ついで実現したことは、「本会議優先制度」の導入であります。これ迄本会議の休憩時に合わせて委員会や各種会議を行ってきたため午後最後の質問者の開始時刻がその時の事情で遅れ、傍聴者に迷惑をかけていましたが、現在では午後三時三十分前後には始まりませので関係者から好評を受けております。諸々の会議は、本会議散会后に開かれるようになりましたことを報告いたします。

以上、改革・改善点を申し述べましたが、議長在職中に築いた事項を礎とし、今後市川市議会が開かれた議会、市民にとつて身近に感じられる存在として運営されることを切に願ひ、今後共更なる努力を傾注してまいりますので、旧に倍しますご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

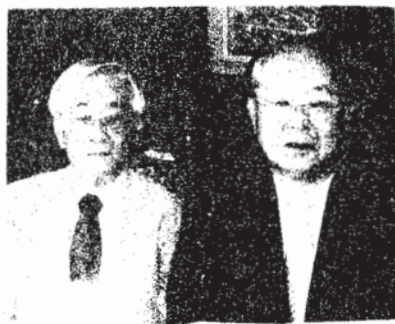
## 天皇陛下に拝謁

五月二十五日、全国議長会の一員として、天皇陛下に拝謁の儀が執り行われ、皇居内の豊明殿において天皇陛下からお言葉を賜りました。

お言葉の内容ですが昨年三月十一日の東日本大震災に心を痛めています。各地の議長においては、国民、市民の為にこれからもがんばって欲しい。被災地の復興、復旧を願っていますと申されました。

拝謁後は、皇居内を係官の案内で約一時間庭園散策をして、普れ高き体験に心踊る一日となりました。

## 議長として普れ高き出逢い



【写真左側が益川博士】

ノーベル物理学賞受賞の益川英敏博士（京都産業大学教授）の講演を聞く機会を頂きました。

去る六月一日、中山小学校の創立百三周年記念として益川博士をお招きし特別授業「世界一の先生がやってきた」が全校児童を対象に行われました。

ノーベル賞を受けた益川先生の来校で、中山小学校の子供達も興奮気味で盛り上がりを見せておりました。

特別授業は「これからの時代を担う子供達へ」と題し、益川博士は本を沢山読むことをすすめ、いつも考えることの大切さを説いた上で、友人と積極的に議論をして欲しいと話された。質問コーナーでは、自分は勉強が好きではなかったと話し、会場を沸かせていたのが印象的でした。

その後先生と昼食を共にして、先生の苦勞話を伺うなど、偉大な先生との出逢いに感激、感動のひとつを過ごさせて頂きました。

## 土屋副市長を再選

六月三十日で任期満了を迎えた現副市長、土屋光博氏（六十才）の選任議案が提案され、審議の結果多数をもって選任同意され、向こう四年間引き続き副市長を勤めることになりました。

土屋氏は、平成十年四月に助役として、又平成二十年副市長として、今回で三期目の就任です。